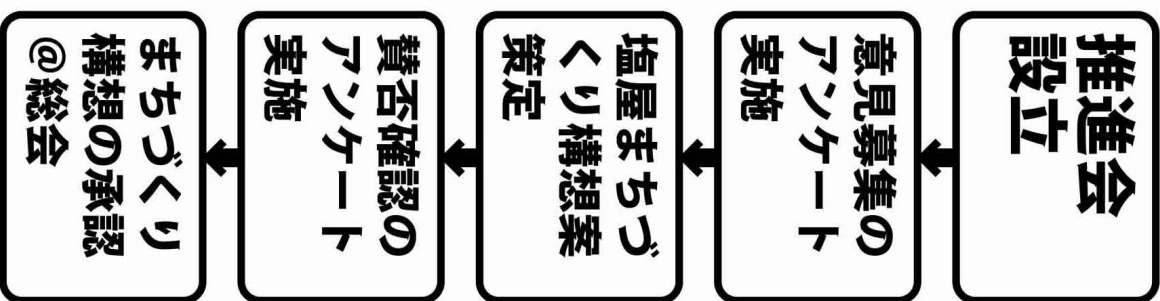


都市計画道路・塩屋まちづくり推進会の取り組みの経緯



整備の実現性・時期

- 塩屋多井畑線の図面は出来ているのでは？
- 計画の見直しの必要性を認識している。
- 変更の余地はある？
- 一定の基準を満たす必要はあるが、柔軟に対応できる。
- 計画自体を見直す動きは？
- 市全体で道路のあり方を見直す時期にある。
- 道路の実現をあきらめている人がいる。
- 過去に10年凍結という話があったが？
- H12年時点。その後、神戸市から働きかけ、塩屋でも住民と協議しながら進めてきた。
- 道路を待ち望んでいる人が多いならそれに沿うようにすべき。
- 反対する人を説得していく必要があるのでは？「いいとこどり」をしては進まない。
- 推進会が地元調整をするわけではない。それは市の責任で行う。
- アンケート、ワークショップでさまざまな意見があった。
- 今の道沿いのまちなみを魅力に感じている。それが失われるのは大きな損失。
- 総意があればすすめる？ うまく行けば整備時期はいつ頃か？ 期間はどれくらい？
- 事業化が決まれば、優先順位をつけて順に改善する考え。
- 「とりあえず」できることを進めたい（できることから）。
- 実績として、大谷交差点の歩道や幼稚園の横が整備されている。
- 計画線の中に建物が新しく建つのはなぜ？
- 計画にかかると部分への建築制限は法的に決まっている。2階建てのものについては許しななければならない。

2008年	
10/11	第1回 (下代自治会館)
10/25	第2回 (松風台自治会館)
11/12	第3回 (ジェームス山連合自治会館)
12/10	第4回 (塩屋小学校図書室)
2009年	
1/14	第5回 (塩屋地域福祉センター)
2/8	第6回 (塩屋地域福祉センター)

個別検討会のまとめ

整備による地域への影響

- 今でも排気ガスで大変なので、あまり広くはして欲しくない。
- 空気の良さが失われる。ホコリだらけに。
- 現在の道路幅が狭いがゆえに他からの流入や排気ガスが少ないなど良い環境が保たれている面もある。
- 車がないと生活が困難なまち。不便だと若者が居なくなる。
- 道路が必要。だが極端に広くすることは避けたい。
- 道路ができることで通過交通が増える。利便性を考えると必要だが、我慢するか、どちらをとるか？
- これまで検討では利便性よりも歩行者の安全を基本に考えてきた。
- サチイまで歩くことがあるが、通学のことを考えると危険だと感じる。
- 歩道ができることで車は安心して走る。
- 防災面を考えると1本は必要かなと思う。
- 緊急車両の到着までの時間のルールはある？ 努力目標としてはある？



幅員・線形 (影響範囲・まちなみの変化度合い)

- 感覚的には住民の意識は「16m」「部分改修 (16m未満)」どちらにある？
- 〇半々だろう。だから協議を続けて行く必要がある。
- 推進会としての方向性を見出したい。
- 重点的に進めていく部分も検討したい。エリアごとの総意に応じて対応。
- 推進会 (まちづくり構想) が「16mにこだわらない」とする理由は？
- アンケートなどの結果、さまざまな意見がある。
- 16mの根拠は？ もつれなくともよい。できるだけ早く歩道を整備して欲しい。
- 根拠は、歩道 (3.5m×2)、停車帯 (1.5m×2) と右折だまりの確保など。
- やるのであれば16mで通したい。バスが通って欲しい。
- せっかく計画があるのだから、思い切って具体的な・積極的に進めるべき。
- バスの問題を解決するためにも16mは確保したい。車線幅は一定必要。
- 計画があるのだから16mでよいのでは。その場しのぎなものを作るべきでない。
- 国道2号が詰まっている。はやく抜け道を。抜本的開発が必要。
- 道路はできるだけ「狭い」方がいいと思う。防災だけの兼ね合いもあるが。
- 通過道路として考えるのか、生活道路と捉えるのか。
- 通過交通のための道ではない。
- 車社会からの転換による軌道修正が必要では？
- 「車道+歩道」の一般的な道路以外のあり方も考えたい。
- 垂水小学校横の道路 (歩車共存) などの事例もある。



整備 (区間) の優先順位づけ

- まずは歩道整備だけを進めるなどできないか？
 - 地域の「総意」があれば。「総意」とはつまり「まちづくり構想」のこと。
 - 歩道ができたら「もうそれで充分」となる可能性もあるのでは。
 - 川の上にふたをして歩道をつくれなにか？
 - 技術的には作れないかと思うが、まちの将来としてそれが良いのかを議論して欲しい。
 - 川沿いの道路がつかると良いのだが。
 - 河川の管理用道路が遊歩道になっているケースもある。
 - まずはコープから駅までの道をひろくすれば良いのでは？
 - 大谷より上ができても、国道2号が詰まったら問題解決にならない。
 - 下代から大谷までだけでも早く整備できればよい。
- (意見●対象地域の方、○推進会役員、■神戸市)
- ※検討会では、上記のほか、景観・防災・塩屋谷川などについても意見交換を行いました。それらについては総会時に報告を予定しています。

神戸市への構想の提出

ゾーン別検討会実施

神戸市に提出した「まちづくり構想」を地域の人々によく知ってもらい、また内容をより具体化するために塩屋地区を5つのゾーンに分けて検討会を実施。意見交換の結果をまとめると・・・

今後の展開は...

都市計画道路路に関しては、ここに記した推進会の活動経緯の中で出された皆さんの意見をふまえて、現在、神戸市が見直し案の策定を進めています。道路以外の取り組みについては4ページをご覧ください。

つづく